

たるみ歯科通信

2018年1月号 No. 85

明けましておめでとうございます。院長の樽味です。

昨年12月、新幹線の台車に亀裂が入る重大インシデントがありましたが、歯科材料も同じで、経年的に口腔内で劣化していきます。台車は交換できますが、歯科においては、再治療が繰り返されることで自分の歯が少なくなっていく、最後は抜歯に至ります。我々は、むし歯を見つけるとすぐに削って詰める従来の歯科治療が、必ずしも患者さんのためにならないと考えており、2003年の開業当初から定期健診を軸とした疾患の予防に力を入れてきました。

日本ヘルスケア歯科学会では、「むし歯や歯周病は少しの気づかいと専門家のサポートでほぼ確実に予防できる」と伝えています。開業からの15年で我々もこの文言を実感できるようになりました。歯科衛生士が同学会の認定を目指す過程でスキルアップしたことと、口腔内写真やX線写真を定期的に撮影することで患者さんのお口の変化を比較・確認できるようになったからです。

今年、我々は『整』を意識します。心と体を整え日々の診療に臨むとともに、院内研修などを通じて知識を整理していきます。また診療室や器具の整理整頓も心がけます。これらを継続することで、更に質の高い歯科医療を提供できると確信しております。それでは皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます！ 歯科衛生士の山下です。
今年も地域の皆さまに多くの情報を発信できるように、そして私自身も大きく成長できる一年になるように、しっかり頑張ろうと思っています。
本年もよろしくお願い申し上げます。

さて最近よく「歯科衛生士さんってどんなことをするの?」とか「歯科衛生士さんってどうやったらなれるの?」などの質問を受けることがあります。
そこで今月の通信では、私たち「歯科衛生士の仕事」についてご紹介します。

私たち歯科衛生士が毎日の診療中で行なっている業務は、「歯科保健指導」「歯科予防処置」「歯科診療補助」の3つに分類されます。

1. 歯科保健指導

皆さんに正しいホームケアをしてもらえるように私たちがサポートします。

「歯磨き指導」や「食事指導」、「禁煙支援」などを通じて、その人に合わせたムシ歯や歯周病の予防方法をお伝えします。



2. 歯科予防処置

お口の中をきれいにクリーニングして歯周病を予防したり、歯ぐきの奥深くの歯石をしっかりと取って重度の歯周病を治療したりするのは私たち歯科衛生士の仕事です。歯周病の予防・治療だけでなく、フッ素塗布やシーラントなどのムシ歯の予防処置も行ないます。



3. 歯科診療補助

歯科医師の隣で診療がスムーズに進むようにアシストをします。

たるみには12人の歯科衛生士が在籍し、8人が「日本ヘルスケア歯科学会」の認定歯科衛生士の資格を取得しています。

皆さんのお口の中がいつまでも健康でいられるように、「定期健診」を通じてそれぞれに合わせたケアを行なうことが私たち歯科衛生士の大きな役目です。



1月の予定

☆ 矯正日は18日(木)午後です。

☆ 19日(金)午前 は院内研修のため 休診 といたします。

